

## 第2学年 生活科 学習指導案

### 単元名「もっと なかよし じょうぼうじ まちたんけん」 ～教えてあげるよ ぼく・わたしの町のこと～

日 時 平成29年9月29日（金）  
場 所 二戸市立浄法寺小学校 2年教室  
児 童 2学年（男子12名・女子11名）  
指導者 井戸畑 美智子

#### 1 児童と単元について

##### (1) 児童について

子どもたちは、1学期の5月に実施した「どきどき わくわく じょうぼうじまちたんけん」の学習では、町を歩きながら、自分のおすすめの1枚の写真を撮り、「どこにある何なのか。」をクイズで発表する活動を通して、今まで気がつかなかったことを発見し、それをもとに探検をすることで、町の施設や商店などに親しみをいただくことができた。また、グループでの調査活動では、探検場所の人と関わる楽しさを、探検したことをまとめる活動では、グループの友だちと話し合いをし、協力しながらまとめ、友だちに伝える楽しさを抱くことができた。そして、探検を行い調査したり、発表を聞いたりしたことで、今まで知らなかった町のよさを知り、感じるができ、友達と協力していろいろな方法でまとめることができた。子どもたちは、自分たちが知らなかったことを新しく発見したという思いが強いが、そこで見つけたことをまとめたり、誰かに伝えたりしようとする経験や方法についてはまだ十分に身に付いていない。

##### (2) 題材について

本単元は、学習指導要領の内容(3)「自分達の生活は地域で生活したり働いたりしている人々や様々な場所とかかわっていることが分かり、それらに親しみや愛着をもち、人々と適切に接することや安全に生活することができるようにする。」(8)「自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を行い、身近な人々と関わることの楽しさが分かり、進んで交流することができるようにする。」をうけて、地域を探検し、出来事を伝え合う活動を通して、地域の人と関わる楽しさを感じ、自分たちの生活は、地域の様々な人々や場所と関わっていることが分かることをねらいとしている。

そこで、本単元では、1回目の探検を振り返り、今の町の様子を想像させることで、「もう一度町探検に行ってみよう」という思いを抱かせ、町のいいところをもっと詳しく調べようという目的で、インタビュー活動をし、地域の人々と再度関わることで、今まで以上に自分の町のよさを感じ取り、自分の町や人々の思いに気付くことで、自分の町にすてきだと思える場所が増えたり、地域の人々と親しくなることができた自分の成長にも気付くことができる題材であると考えます。

#### 2 指導にあたって

##### (1) 単元構想について

本単元は、4つの小単元「まちたんけんの計画を立てよう」「もういちどたんけんに行こう」「知りたいことをもっとくわしくしらべよう」「まちのことでくわしくなったことを教えよう」で構成している。

「つかむ」の段階では、1回目の町探検の地図や写真などを見て、「どこに行き、どんなことを調べたか。」を確認し、「今はどうなっているか。」と投げかけることで、今の町の様子をもう一度探検して調べたいという意欲をもつことができるようにする。

「みとおす」の段階では、1回目の探検の経験をもとにし、「どんなことをすればもっと詳しく調べることができるか。」という視点をもたせてグループで意見を交流させる。計画を立てる際、子どもたちがたくさんの意見の交流をできるようにし、探検先の連絡も子ども達で考えさせ、自分達の力で探検を行うことができるようにする。

「やってみよう」の段階では、学校を離れ、グループ毎に活動をしていく。安全に気を付けながら自分が質問したいことやグループで質問したいことをきちんとインタビューしたり、見たこと、聞いたこ

と、体験したことを、五感で感じ取らせたりできるようにする。

「まとめる・ひろげる」の段階では、見学してきたことをグループ毎にまとめ、地域の人たちに発信していきたい。その際、地域の人にインタビューをしたこと、体験して気付いたことや分かったことを進んで交流するようにし、交流する楽しさを実感できるようにし、また、地域を理解することで、地域のよさを知り、もっと知りたい、もっと交流したいという気持ちをもつことができるようにする。

「ふりかえる」の段階では、探検を通して学んだこと、新しく知ったこと、関わったことをまとめる活動を通して、地域の商店や自治会の工夫・取り組みは、自分たちの生活に関わっていることに気付くようにする。

## (2) 表現活動について

本単元では、自分の考えや発見を友達と交流して比べて聞く活動を多く取り入れる。

「つかむ」の段階では、春の探検時の写真や地図から、今の町の様子を考えさせることで、「もう一度探検したい。」という意欲を高め、もっと詳しく調べるために、今回の探検でどこに行き、どんな思いで探検を行うか、一人一人が意欲をもって行くことができるようにする。

「みとおす」の段階では、夏休みで体験したことや、1回目の探検から今までの町の様子を学級で交流し合い、「もっと町のことを詳しく知るためにはどんなことをしてみたらいいのか。」という視点で話し合いを行う。グループごとに発表し合うところでは、自分の考えと友達の考えを比べながら聞いたり、友達やグループで意見を交流し合ったりすることで、子どもたちのコミュニケーションの力を育てる。

「やってみる」の段階では、詳しく調べるためのインタビュー活動に向けて、適切な言葉遣いを考えて、会話ができるようにしたり、質問した答えをメモしたりできるようにする。

「まとめ・ひろげる」の段階では、見学してきたことを交流しながらグループ毎にまとめ、発表する。地域の人にインタビューをしたこと、体験して気付いたことや分かったことを進んで交流するようにし、交流する楽しさを実感させたい。また、グループ発表に向けて、1学期の探検時の発表を思い出させ、聞いている相手に伝わるような発表ができるようにする。

## 3 単元の指導計画

### (1) 単元の目標

◎地域の人々に関わる活動を通して、地域には生活したり、働いたりしている人々がいること、それらの人々と自分たちの生活との関わりに気付き、地域の人々に親しみや愛着をもつとともに、人々と適切に接したり、安全に生活をしたりすることができるようにする。

〈生活への関心・意欲・態度〉

- ・春のまち探検などで関わった人や場所と繰り返し関わることによって地域や場所に関心をもち、それらに親しみや愛着をもって、話したり、一緒に活動したりしようとしている。

〈活動や体験についての思考・表現〉

- ・もう一度関わりたい場所や人、一緒にしてみたい活動を決め、地域で生活したり、働いたりしている人々と自分たちとの関わりについて考え、それをすなおに表現している。

〈身近な環境や自分についての気付き〉

- ・地域で生活したり、働いたりしている人々の、地域への思いや、自分たちとの関わりに気付くことができる。
- ・自分たちの暮らす地域のよさに気付き、人々と接することができるようになった自分たちのよさに気付いている。

(2) 単元の指導計画 (22時間)

どきどきわくわくまちたんけん (11時間) 5月～6月

過程	主たる活動〈評価規準〉	支援
つかむ (2)	<p>○まちを歩いてみる。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域を歩いたときを振り返り、知っていることや興味のあることを紹介し合う。</li> <li>・まちを歩いて、自分の「なんだろう」を見つけて、写真を撮る。</li> </ul> <p>自分の気に入っている場所や興味のあること、不思議なことなど、自分と地域との関わりを紹介し合うことを通して、身近な地域に関心を持ち、探検への意欲をもとうとしている。〈関・意・態〉</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・導入時にまちの写真を見せ、「なんだろう」という気持ちをもたせ、興味がわくようにする。</li> <li>・まちを歩いて、「なんだろう」を見つけるときは、場所がわかるように地図に記録するようにする。</li> <li>・また、ただ「おもしろい」ものではなく、今まで気付かなくて「なんだろう知りたい」と思うような視点を与え、写真に撮るようにする。</li> </ul>
みとおす (2)	<p>○まちたんけんの計画を立てる。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・撮ってきた写真を見て、どの場所の何なのかを交流する。</li> <li>・調べたい写真を選び、行きたい場所を決めて、グループに分かれる。</li> <li>・何を聞きたいかをグループで話し合う。</li> <li>・お互いのグループの質問事項などを確認する。</li> <li>・ルールやマナー、気を付けることを話し合う。</li> </ul> <p>友達が撮った写真を見て、新しい発見に気づき、自分が探検に行きたい場所を見つけている。〈気付き〉 行きたい場所や質問したいことを決め、相手や場に応じた適切な行動や、安全な行動について考えながら活動の計画を立てている。〈思考・表現〉</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のおすすめの1枚から探検場所を選ぶということを伝え、自分の発表した場所に探検したいと思う友達がたくさんできるような発表ができるように声をかける。</li> <li>・友達の発表を聞くときにも、この写真のところに行ってみたいと思うところを考えながら発表を聞くことができるように声をかける。</li> <li>・発表を聞いた後、見たいものや確かめたいことを考えさせ、児童一人一人に、探検の目的意識をもつことができるように、友達の発表のよかったところを全体で共有できるようにする。</li> <li>・探検の際に、安全に気を付けることを確認し、緊急のときにはどのようにするのか、確認しておく。</li> </ul>
やってみる (3)	<p>○まちたんけんに行く。(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループごとに計画に沿って探検し、人や場所と関わる。</li> <li>・見つけたものや聞いたり気付いたりしたことを、友達や先生に伝えたり、記録カードに書いたりする。</li> </ul> <p>グループごとにまち探検に出かけ、友達と協力しながら、店や施設の人にインタビューしたり、見たりして、地域の人が分かるとともに、それらが自分の生活と関わっていることに気付いている。〈気付き〉</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・探検する人などに、学習のねらいを伝えておき、児童が知りたいことを依頼しておく。</li> <li>・地域の音やにおいなどにも視点を当てるとよいことに気付かせ、諸感覚を使った活動ができるように声をかける。</li> <li>・まとめるときに、困ることがないように、分からないことは、しっかりインタビューして聞いてくるように声掛けをする。</li> </ul>
まとめる・ひろげる (3)	<p>○まちのことを伝え合う。(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループごとにみんなに伝えることを決め、相手に伝わりやすい表現方法を考え、伝えたい内容をまとめ、準備する。</li> <li>・自分達が新たに見つけたことや、解決したことを伝え合い、まちの情報を共有する。</li> </ul> <p>探検したことを振り返り、見つけたものや出会った人のことを伝え合っている。〈思考・表現〉 地域には、自分がかかわった場所や人以外にも様々な場所があり、いろいろな人がいることに気付いている。〈気付き〉</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のことを分かりやすく伝える方法を工夫できるようにする。(どんなものか、何のためにあるかなど気付いた視点を大切にする。)</li> <li>・今回の町探検で見つけたことや分かったことを地図に付け足していき、学習の深まりを可視化する。</li> </ul>

ふりかえる (1)	<p>○まちたんけんを振り返る。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>探検で関わった人には、それぞれの人の思いがあることに気付くようにする。</li> <li>発表会でもらった感想から、様々な人々との関わりについて考え、感じたこと、わかったことを発表し合い、自分自身ができるようになったことに気付く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今までの活動を振り返り、体験したことだけではなく、思ったことや感じたことも大事であることを伝える。</li> <li>自分達の生活は、地域のあらゆるものや多くの人と関わり、支えられていることを振り返り、次の学習へ意欲をもつことができるようになる。</li> </ul>
--------------	---	---

もっとなかよしまちたんけん(12時間)9月~10月

過程	主たる活動<評価規準>	支援
つかむ (2)	<p>○1学期のまち探検や今までの町での行事のことを振り返る。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>絵地図をみながら、1回目のまち探検や今までに行ったことのある場所のことを考えながら、そこにどんな人がいたかを話し合う。</li> </ul> <div data-bbox="236 768 815 902" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1回目の探検で使った絵地図を見ながら、これまでに行った地域の場所や関わった人々に関心を持ち、探検への意欲をもとうとしている。(関・意・態)</p> </div> <p>○探検したい場所を決める。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地図や1回目の探検を思い出しながら、自分が探検したい場所を考える。</li> </ul> <div data-bbox="236 1070 815 1205" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1回目の探検で使った絵地図を見ながら、詳しく調べたい場所を考え、自分の探検先を見つけている。(思考・表現)</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1回目の探検のまとめや地図を振り返りながら、「どこで」、「どんなことをした」や「どんな人がいたか」を思い出し、夏休みや探検後の様子を思い出し、探検したい意欲が高まるように1回目にまとめたものを全体で確認できるようにする。</li> <li>1回目の探検で調べて分かったことを確認しながら、もっと自分が調べたいことを考えることができるようにする。</li> <li>「なぜ、そこに行きたいのか。」をじっくりと考える時間をもたせ、児童一人一人が、探検の目的意識をしっかりともつことができるようにする。</li> </ul>
みとおす (3) 本時4/12	<p>○まちたんけんの計画を立てる。(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「もっとくわしく」とは、どんなことかをみんなで考える。</li> </ul> <div data-bbox="236 1350 815 1451" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1回目の探検と比較して、どのようにすればもっとくわしく調べることができるかを考えている。(思考・表現)</p> </div> <div data-bbox="236 1462 815 1585" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>・みんなで話し合った視点をもとにグループで探検するときの質問やどうやって探検先にアポイントをとるかを考える。(本時2/3)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>お互いのグループの質問事項などを確認する。</li> <li>ルールやマナー、気を付けることを話し合う。</li> <li>見たいものや聞きたいことなどを確認する。</li> <li>探検先に連絡をする。</li> </ul> <div data-bbox="236 1753 815 1944" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1回目の探検のときと比べながら、詳しく調べるための質問や方法の工夫に気付き、質問や体験、方法を見つけている。(気付き) 行きたい場所や質問したいことを決め、相手や場に応じた適切な行動や、安全な行動について考えながら活動の計画を立てている。(思考・表現)</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前回の計画と同じことをしてくるのは、くわしく調べることではないことを確認する。</li> <li>子どもたちから出されたいろいろな意見をまとめ、次回の話し合いでの視点をもつことができるようにする。</li> <li>前時での話し合いを想起し、グループで話し合う際の手掛かりにできるように、板書や掲示を工夫する。</li> <li>探検の目的意識をしっかりともつことができるように、グループで聞きたいことや体験したことを交流する場を設定する。</li> <li>安全に気を付けることを確認し、緊急のときにはどのようにするのかを確認する。</li> <li>探検の計画を立てるときには、1回目の探検を思い出させ、何が必要か気付くことができるようにする。</li> </ul>

<p>や っ て み る (3)</p>	<p>○知りたいことをもっと詳しく調べる。(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで探検に行く。</li> <li>・探検先で、見たり聞いたりして、地域の人の仕事を知ったり、働いている人と仲良くなったりする。</li> </ul> <p>地域の人に親しみをもって関わろうとしている。 〈関心・意欲・態度〉 相手の人のことを考え、場に合った言動をして関わっている。 〈思考・表現〉 地域で生活したり働いている人々の工夫や思いに気付いている。 〈気付き〉</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・探検先に、児童の思いや質問事項、体験希望の依頼をしておく。</li> <li>・探検に行くまでに、インタビューしたことで分からないことは再度質問して聞く、聞いたことを忘れないようにメモを取るなどに気付かせ、実践できるように声掛けをする。</li> </ul>
<p>ま と め る ・ ひろ げ る (3)</p>	<p>○まちのことで詳しくなったことをまとめる。(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループごとにみんなに伝えることを決め、内容に適した表現方法を考え、伝えたい内容をまとめ、準備する。</li> <li>・自分達が新たに見つけたことや解決したことを伝え合い、まちの情報を共有する。</li> <li>・地域の人に発見したことを発表する。</li> </ul> <p>探検したことを振り返り、探検先で見つけたものや出会った人のことを伝え合っている。 〈思考・表現〉 地域には、自分がかかわった場所や人以外にも様々な人や場所があることに気付いている。 〈気付き〉</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・探検先で詳しく調べたことを地域の人に発信するには、どのような方法がいいのかという視点を与える。</li> <li>・分かりやすく伝える方法を考えるときには、どんな物が、何のためにあるのかなど、探検先で気付いた視点を示すようにする。</li> </ul>
<p>ふ り か え る (1)</p>	<p>○まちたんけんを振り返る。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・探検で関わったことや、自分達の生活と関わっていることを、発表会でもらった感想から、様々な人々との関わりについて考え、感じたこと、わかったことを発表し合う。</li> <li>・自分自身ができるようになったことを見つける。</li> </ul> <p>活動を振り返り、地域のよさや伝え合うことの楽しさや自分達ができるようになったことを実感している。 〈気付き〉</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今までの活動を振り返り、音や色など五感で感じ取ったことも大事であることに気付くことができるようにする。</li> <li>・探検先で出会った地域の人を想起させ、自分達の生活は、地域のあらゆるものや多くの人とかかわり、支えられていることを振り返り、次の学習へ意欲をもつことができようにする。</li> </ul>

#### 4 本時の指導（4/12時）

##### （1）目標

- ・自分たちの力で探検に行くための準備をグループで考えることができる。

##### （2）本時の展開

過程	学習内容と活動	教師の支援
導入 (5分)	1 前時の学習を振り返る。 2 本時の課題を確認する。 <div data-bbox="248 589 817 660" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">             たんけんに行くためのじゅんびをしよう。           </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行きたい場所で詳しく知りたいことや、やってみたいことを振り返り、探検への意欲をもたせる。</li> </ul>
展開 (35分)	3 グループ毎に探検に行くために必要な事柄を出し合わせる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・探検先での質問、めあて、きまりなど探検に行くときに必要なことをそれぞれのグループで話し合う。</li> </ul> 4 探検に行くための必要な事柄を交流する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ毎に話し合ったこと出し合い、全体で交流し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合いカードに必要な事柄を記録させ、グループの話し合いで出されたことが、可視化できるようにする。</li> <li>・なかなか意見が出ないグループには、他のグループの話し合いを参考にするように声をかけるようにする。</li> <li>・話し合いが進んでいるグループには、どんな方法で、探検先の人に連絡をするのか、連絡するときの言葉遣いなども考えるように声をかけるようにする。</li> </ul> <div data-bbox="858 1146 1407 1319" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           1回目の探検のときと比べながら、詳しく調べるための質問や方法の工夫に気付き、今回の探検の質問や体験、方法を見つけている。            〈気付き〉         </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問先への見学のお願いの仕方、その場所への行き方、訪問先での質問内容、お礼の仕方など、子どもたちの話し合いで出てきた準備に関わるものを取り上げていく。</li> </ul> <div data-bbox="858 1610 1407 1753" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           相手や場に応じた適切な行動や、安全な行動について考えながら活動の計画を立てている。            〈思考・表現〉         </div>

	<p>5 もう一度グループで話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>出された探検先への見学のお願いの仕方や質問内容など、具体的にグループ毎に話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>話し合いが進んでいるグループは、どんな方法で、探検先の人に連絡をするのか、連絡するときの言葉遣いなども考えるように声をかける。</li> <li>普段の生活を振り返りながら、適切な言葉遣いを考えることができるように声をかける。</li> </ul>
<p>終末 (5分)</p>	<p>6 本時の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>友達の発表を聞いて、よかったところを考える。</li> </ul> <p>7 次時の学習を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>他のグループや友達の発表のよいところを見つけることで、これからの活動を意欲をもってできるようにする。</li> </ul>

### (3) 評価規準

	ねらいを達成している児童	努力を要する児童への支援	評価方法
<p>思考・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手や場に応じた適切な行動や、安全な行動について考えながら活動の計画を立てている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今までの生活経験を思い出させ、探検に必要なことを言葉にできるように声をかける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観察, 発表</li> <li>カードへの記述</li> </ul>
<p>気付き</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1回目の探検のときと比べながら、詳しく調べるための質問や方法の工夫に気付き、質問や体験、方法を見つけている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達の発言から、探検での質問や方法を気付くことができるように声をかける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観察, 発表</li> </ul>

